

提供日 2019/10/02
タイトル マダニが媒介する感染症「日本紅斑熱」に注意しましょう
担当 健康福祉部 医療健康局疾病対策課
連絡先 感染症対策班
TEL 054-221-2986



—危機管理情報—

マダニが媒介する感染症「日本紅斑熱」に注意しましょう！
～今年7例目の「日本紅斑熱」が発生し、
過去最高報告数となりました～

1 要旨

静岡県熱海市在住の60歳代男性が9月23日に発熱し、24日から紅斑も出現しました。近医を受診し、30日に東部保健所管内の医療機関に紹介入院となり、ダニが媒介する感染症の疑いがあるため、静岡県環境衛生科学研究所で検査を実施しました。その結果、10月1日に「日本紅斑熱」と判明しました。

患者はダニに咬まれた自覚はありませんでしたが、血液及び腰部の刺し口の皮膚から病原体が検出されました。患者は現在入院中ですが、快方に向かっています。

本県では、今年はこれまで7件（5月2件、6月1件、7月2件、9月1件、10月1件）の日本紅斑熱が報告されており、最も多く報告された平成29年の6件（6月1件、9月4件、10月1件）を超えました。マダニの活動は秋まで盛んといわれています。レジャーや農作業などで野山や草むら、畑などに入る場合にはより一層の注意が必要です。

2 日本紅斑熱とは

(1) 感染経路

- 日本紅斑熱リケッチアという病原体を保有する マダニに咬まれることで感染します。
- 人から人へ感染して広がることはありません。

(2) 症状・治療

- マダニに咬まれてから2～8日で、高熱、発疹を呈し、重症化すると死に至ることもあります。
- 治療の第一選択薬はテトラサイクリン系抗菌薬で、ニューキノロン系抗菌薬が有効という報告もあります。

3 注意喚起

(1) マダニに咬まれないようにしましょう！

- 特にマダニの活動が盛んな、春から秋にかけて注意が必要です。
- レジャーや農作業などで、野山や草むら、畑などに入る場合は、帽子、長袖、長ズボン、足を完全に覆う靴を着用し、肌の露出を少なくしてください。
- マダニ用に市販されている忌避剤はありますが、マダニの付着を完全に防ぐことはできませんので、他の防護手段と組み合わせて対策を取りましょう。

(2) 屋外活動後は、マダニに咬まれていないか確認しましょう！

- マダニに咬まれた場合は、数日間、体調の変化に注意しましょう。
- 発熱・発疹の症状が見られたら、早めに医療機関を受診し、マダニに咬まれた可能性があることを伝えましょう。

4 県内の日本紅斑熱の患者数 (人)

令和元年は10月1日時点

本県では、平成12年から令和元年まで22名の患者が届出されており、届出患者の住所地は県東部で19名、県西部で2名、その他(県外)が1名。

	全国	静岡県 ()内は死亡患者数再掲	患者 性別・年代・住所地・発生月
平成12年	38	1	1.男・60歳代・沼津市・9月
平成25年	175	1	1.女・60歳代・伊豆の国市・7月
平成27年	215	2(1)	1.男・60歳代・沼津市・8月 2.女・70歳代・伊豆の国市・6月※
平成28年	277	2(1)	1.男・70歳代・伊東市・11月 2.女・70歳代・沼津市・5月※
平成29年	337	6(2)	1.女・80歳代・熱海市・6月 2.男・50歳代・伊豆の国市・9月 3.女・70歳代・沼津市・9月※ 4.男・70歳代・沼津市・9月 5.女・80歳代・沼津市・9月※ 6.女・70歳代・沼津市・10月
平成30年	305	3	1.男・50歳代・三島市・3月 2.男・70歳代・伊東市・8月 3.女・70歳代・伊東市・10月
令和元年	181	7(1)	1.男・70歳代・神奈川県湯河原町・5月 2.女・70歳代・熱海市・5月 3.女・50歳代・県西部地区・6月 4.女・70歳代・伊豆の国市・7月※ 5.女・70歳代・熱海市・7月 6.女・40歳代・掛川市・9月 7.男・60歳代・熱海市・10月

平成30年の3例は、平成29年10月に発症したが、検体量が少なく平成30年に入って診断された1例を含む。
※亡くなられた方。